

2025年秋田県全量転換

放射線育種米あきたこまちR 何が問題なのか

消費者には選ぶ権利がある

11/14

火曜日

参議院議員会館B104

秋田県はあと2年
あきたこまちが全て **あきたこまちR** に

2025年より、秋田県で生産されるお米はすべてカドミウム汚染対策として開発された放射線育種米の「あきたこまちR」に切り替わります。県いわく「風評被害になる可能性を避ける」ため、汚染地域だけではなく県内すべてを切り替えるとのこと。表示義務がないので消費者からはわかりません。生産者をも置き去りにした放射線育種米への転換は、秋田県以外にも広がる可能性があります。

- 16:15 開会
- 16:30 農林水産省との意見交換
- 17:30 問題提起「イオンビーム放射線育種作物が日本の主流に？」
提起者：印鑰 智哉氏（OKシードプロジェクト事務局長）
- 18:00 秋田県の現状報告（秋田県議会議員 加藤麻里）
- 18:20 質疑応答
- 19:00 終了

なぜこのようなことになったのか
秋田はどうなるのか
日本はどうなるのか
カドミウム対策はどうあるべきなのか
ぜひお集まりください



zoom配信します。ID: 817 7552 9931 パスコード: 338355
福島みずほ、大椿ゆうこアカウントX(Twitter)のスペースでも配信。
どちらも、どなたでも大歓迎です。ぜひご参加を！

主催：あきたこまちRを考える実行委員会

連絡先：参議院議員 福島みずほ事務所 事務局：03-6550-1111 mizuho-office@jca.apc.org